

楽天ターゲットイヤー 2030 / 2040 / 2050

追加型投信/内外/資産複合

交付運用報告書

第4期(決算日 2020年9月23日)

(作成対象期間 2019年9月21日~2020年9月23日)

楽天ターゲットイヤー2030

当期末	
基準価額	11,749円
純資産総額	816百万円
騰落率	1.1%
分配金合計	0円

楽天ターゲットイヤー2040

当期末	
基準価額	12,637円
純資産総額	896百万円
騰落率	0.9%
分配金合計	0円

楽天ターゲットイヤー2050

当期末	
基準価額	12,627円
純資産総額	503百万円
騰落率	0.9%
分配金合計	0円

(注)騰落率は分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

受益者の皆様へ

平素は当ファンドにご投資いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは、このたび上記決算を行いました。当ファンドは、楽天グローバル株式マザーファンド受益証券および楽天・世界債券(為替ヘッジ付)マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に日本を含む先進国の株式および債券に分散投資を行うことで、リスク分散を図りながら収益の獲得を目指して運用を行いました。ここに当期間の運用状況につきまして、ご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

楽天投信投資顧問株式会社

<https://www.rakuten-toushin.co.jp/>

東京都港区南青山二丁目6番21号

本資料(交付運用報告書)の記載内容のお問い合わせ先

TEL: 03-6432-7746

受付時間: 営業日の午前9時から午後5時まで

※お客様のお取引内容等につきましては販売会社にお問い合わせください。

Rakuten 楽天投信投資顧問

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記ホームページアドレスにアクセス

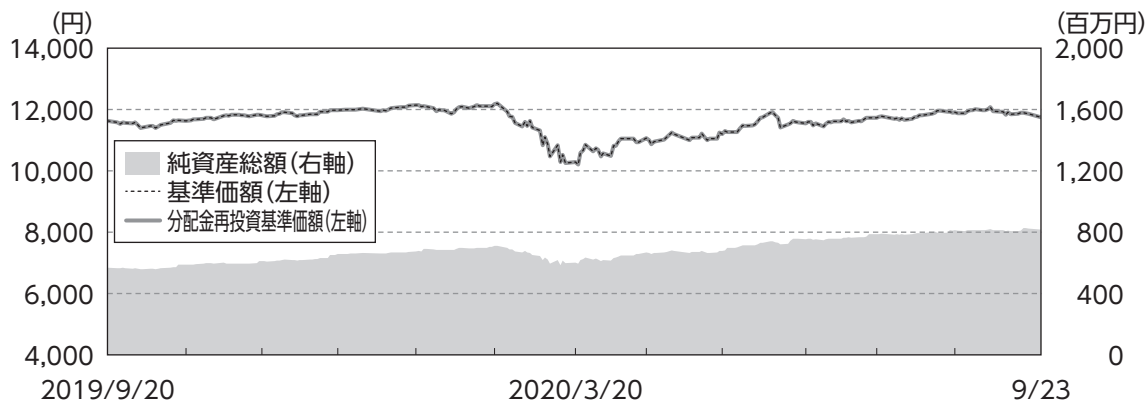
⇒「基準価額一覧」から当該ファンドを選択

⇒「運用報告書(全体版)」を選択し、閲覧およびダウンロード

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

運用経過の説明

1 基準価額等の推移



期 首：11,625円

期 末：11,749円(既払分配金0円)

騰落率：1.1%(分配金再投資ベース)

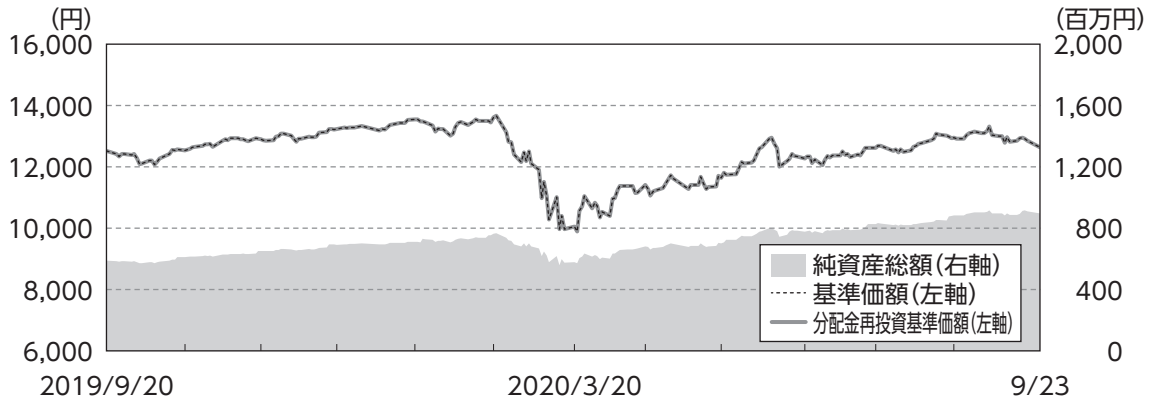
(注1)分配金再投資基準価額は、分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2)分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3)分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を起点として指数化しています。

運用経過の説明

1 基準価額等の推移



期首：12,520円

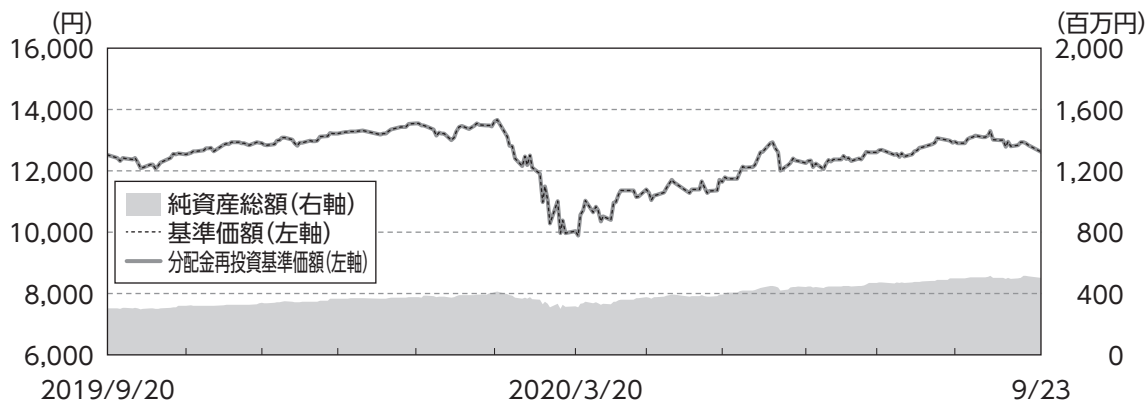
期末：12,637円(既払分配金0円)

騰落率：0.9%(分配金再投資ベース)

- (注1)分配金再投資基準価額は、分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2)分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3)分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を起点として指数化しています。

運用経過の説明

1 基準価額等の推移



期 首：12,512円

期 末：12,627円(既払分配金0円)

騰落率：0.9%(分配金再投資ベース)

- (注1)分配金再投資基準価額は、分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2)分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3)分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を起点として指数化しています。

2 基準価額の主な変動要因

楽天ターゲットイヤー2030

当ファンドは、「楽天グローバル株式マザーファンド」受益証券(以下、「先進国株式マザーファンド」といいます。)および「楽天・世界債券(為替ヘッジ付)マザーファンド」受益証券(以下、「世界債券マザーファンド」といいます。)を主要な投資対象とし、基準価額はそれぞれのマザーファンドを通じて実質的に投資している「ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー グローバル・コア・エクイティ・ファンド」(以下、「投資先ファンド(先進国株式)」)といいますが、「ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー グローバル・ショート・フィクスト・インカム・ファンド」(以下、「投資先ファンド(世界債券)」)といいますが、)の価格変動の影響を受けます。

当期の先進国株式市場は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大やそれに伴う経済活動の減速を受けて、2020年2月から3月にかけて急落しましたが、その後は世界規模での政府・中央銀行による大規模な経済対策などを背景に大幅に反発しました。こうしたなか、投資先ファンド(先進国株式)も期前半は大きく調整したものの、期後半に前半の急落を埋め合わせ、当期末には前期末と同程度の水準まで回復し、それを受けて先進国株式マザーファンドも前期末比と変わらずの水準で期末を迎えました。

先進国債券市場では、米国の長期金利が大きく低下(債券価格は上昇)した一方、ドイツの長期金利は前期末比小幅な変化にとどまり、日本の長期金利は前期末比上昇しました。こうしたなか、投資先ファンド(世界債券)は、組入比率の高いユーロ建て債券の一部が下落したことなどから、前期末比ほぼ横ばいで期末を迎え、世界債券マザーファンドも同様に前期末比小幅な変化にとどまりました。

当ファンドは基本配分に沿って、先進国株式マザーファンドへの組入比率を漸減させ、世界債券マザーファンドへの組入比率を漸増させました(期末時点では、純資産総額の40%程度を先進国株式マザーファンドに、60%程度を世界債券マザーファンドに配分しています)。両ファンドとも前期末比ほぼ同水準で期末を迎えましたが、資産配分比率を日々調整する運営により、結果的に3月以降の先進国株式市場の上昇効果などをうまくとらえることができたため、基準価額は小幅ながらも前期末比上昇しました。

楽天ターゲットイヤー2040

当ファンドは、「楽天グローバル株式マザーファンド」受益証券(以下、「先進国株式マザーファンド」といいます。)および「楽天・世界債券(為替ヘッジ付)マザーファンド」受益証券(以下、「世界債券マザーファンド」といいます。)を主要な投資対象とし、基準価額はそれぞれのマザーファンドを通じて実質的に投資している「ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー グローバル・コア・エクイティ・ファンド」(以下、「投資先ファンド(先進国株式)」)といいますが、「ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー グローバル・ショート・フィクスト・インカム・ファンド」(以下、「投資先ファンド(世界債券)」)といいますが、)の価格変動の影響を受けます。

当期の先進国株式市場は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大やそれに伴う経済活動の減速を受けて、2020年2月から3月にかけて急落しましたが、その後は世界規模での政府・中央銀行による大規模な経済対策などを背景に大幅に反発しました。こうしたなか、投資先ファンド(先進国株式)も期前半は大きく調整したものの、期後半に前半の急落を埋め合わせ、当期末には前期末と同程度の水準まで回復し、それを受けて先進国株式マザーファンドも前期末比と変わらずの水準で期末を迎えました。

先進国債券市場では、米国の長期金利が大きく低下(債券価格は上昇)した一方、ドイツの長期金利は前期末比小幅な変化にとどまり、日本の長期金利は前期末比上昇しました。こうしたなか、投資先ファンド(世界債券)は、組入比率の高いユーロ建て債券の一部が下落したことなどから、前期末比ほぼ横ば

いで期末を迎え、世界債券マザーファンドも同様に前期末比小幅な変化にとどまりました。

当ファンドは期を通じて純資産の75%程度を先進国株式マザーファンドに、25%程度を世界債券マザーファンドに配分しました。両ファンドとも前期末比でほぼ同水準で期末を迎えましたが、資産配分比率を日々調整する運営により、結果的に3月以降の先進国株式市場の上昇効果などをうまくとらえることができたため、基準価額は小幅ながらも前期末比上昇しました。

楽天ターゲットイヤー2050

当ファンドは、「楽天グローバル株式マザーファンド」受益証券(以下、「先進国株式マザーファンド」といいます。)および「楽天・世界債券(為替ヘッジ付)マザーファンド」受益証券(以下、「世界債券マザーファンド」といいます。)を主要な投資対象とし、基準価額はそれぞれのマザーファンドを通じて実質的に投資している「ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー グローバル・コア・エクイティ・ファンド」(以下、「投資先ファンド(先進国株式)」)といっています。)ならびに「ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー グローバル・ショート・フィクスト・インカム・ファンド」(以下、「投資先ファンド(世界債券)」)といっています。)の価格変動の影響を受けます。

当期の先進国株式市場は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大やそれに伴う経済活動の減速を受けて、2020年2月から3月にかけて急落しましたが、その後は世界規模での政府・中央銀行による大規模な経済対策などを背景に大幅に反発しました。こうしたなか、投資先ファンド(先進国株式)も期前半は大きく調整したものの、期後半に前半の急落を埋め合わせ、当期末には前期末と同程度の水準まで回復し、それを受けて先進国株式マザーファンドも前期末比と変わらずの水準で期末を迎えました。

先進国債券市場では、米国の長期金利が大きく低下(債券価格は上昇)した一方、ドイツの長期金利は前期末比小幅な変化にとどまり、日本の長期金利は前期末比上昇しました。こうしたなか、投資先ファンド(世界債券)は、組入比率の高いユーロ建て債券の一部が下落したことなどから、前期末比ほぼ横ばいで期末を迎え、世界債券マザーファンドも同様に前期末比小幅な変化にとどまりました。

当ファンドは期を通じて純資産の75%程度を先進国株式マザーファンドに、25%程度を世界債券マザーファンドに配分しました。両ファンドとも前期末比でほぼ同水準で期末を迎えましたが、資産配分比率を日々調整する運営により、結果的に3月以降の先進国株式市場の上昇効果などをうまくとらえることができたため、基準価額は小幅ながらも前期末比上昇しました。

3 1万口当たりの費用明細

項 目	当期		項 目 の 概 要
	2019年9月21日～2020年9月23日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	68円 (32) (32) (3)	0.582% (0.277) (0.277) (0.028)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は11,616円です。 ・委託した資金の運用の対価 ・購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 ・運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	－	－	(b) 売買委託手数料＝ $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	－	－	(c) 有価証券取引税＝ $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (印刷費用) (その他)	14 (0) (2) (10) (2)	0.123 (0.000) (0.013) (0.090) (0.020)	(d) その他費用＝ $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・印刷費用は、有価証券届出書、目論見書、運用報告書等の作成、印刷および提出等に係る費用 ・その他は、金銭信託への預入金額に対する手数料、その他投資信託財産の運営にかかる費用等
合 計	82	0.705	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

3 1万口当たりの費用明細

項 目	当期		項 目 の 概 要
	2019年9月21日～2020年9月23日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	73円 (35) (35) (3)	0.582% (0.277) (0.277) (0.028)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は12,471円です。 ・委託した資金の運用の対価 ・購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、 口座内でのファンドの管理等の対価 ・運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	－	－	(b) 売買委託手数料＝ $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	－	－	(c) 有価証券取引税＝ $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (印刷費用) (その他)	15 (0) (2) (11) (3)	0.122 (0.000) (0.012) (0.089) (0.020)	(d) その他費用＝ $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・印刷費用は、有価証券届出書、目論見書、運用報告書等の作成、印刷および提出等に係る費用 ・その他は、金銭信託への預入金額に対する手数料、その他投資信託財産の運営にかかる費用等
合 計	88	0.704	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

3 1万口当たりの費用明細

項 目	当期		項 目 の 概 要
	2019年9月21日～2020年9月23日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	73円 (35) (35) (3)	0.582% (0.277) (0.277) (0.028)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は12,465円です。 ・委託した資金の運用の対価 ・購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 ・運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	－	－	(b) 売買委託手数料＝ $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	－	－	(c) 有価証券取引税＝ $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (印刷費用) (その他)	15 (0) (1) (11) (3)	0.123 (0.000) (0.011) (0.091) (0.021)	(d) その他費用＝ $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・印刷費用は、有価証券届出書、目論見書、運用報告書等の作成、印刷および提出等に係る費用 ・その他は、金銭信託への預入金額に対する手数料、その他投資信託財産の運営にかかる費用等
合 計	88	0.705	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

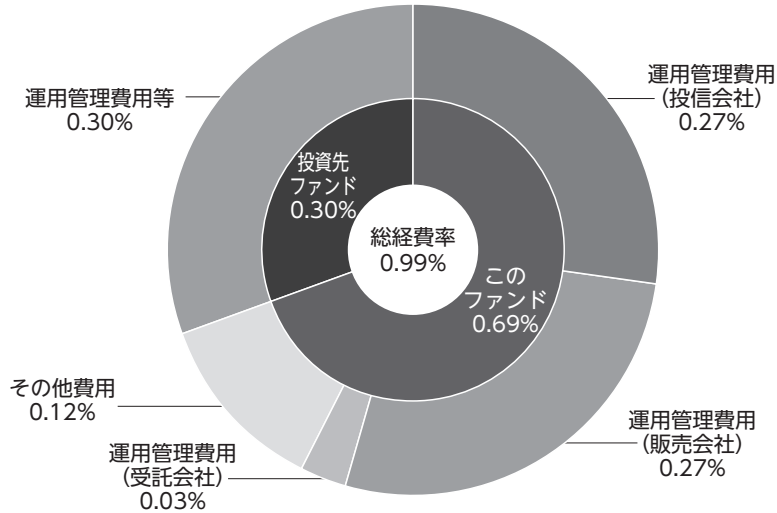
(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ (参考情報) 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.99%です。

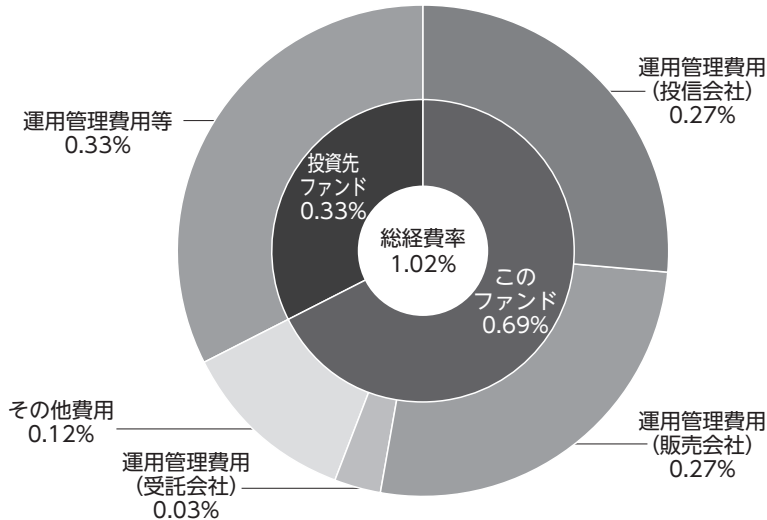


総経費率 (①+②)	0.99%
①このファンドの費用の比率	0.69%
②投資先ファンドの運用管理費用等の比率	0.30%

- (注1) このファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- (注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
- (注3) 各比率は、年率換算した値です。
- (注4) 投資先ファンドとは、このファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。
- (注5) このファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
- (注6) このファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- (注7) 投資先ファンドについては、運用会社等より入手した概算値を使用している場合があります。
- (注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■ (参考情報) 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.02%です。



総経費率 (①+②)	1.02%
①このファンドの費用の比率	0.69%
②投資先ファンドの運用管理費用等の比率	0.33%

(注1) このファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) このファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

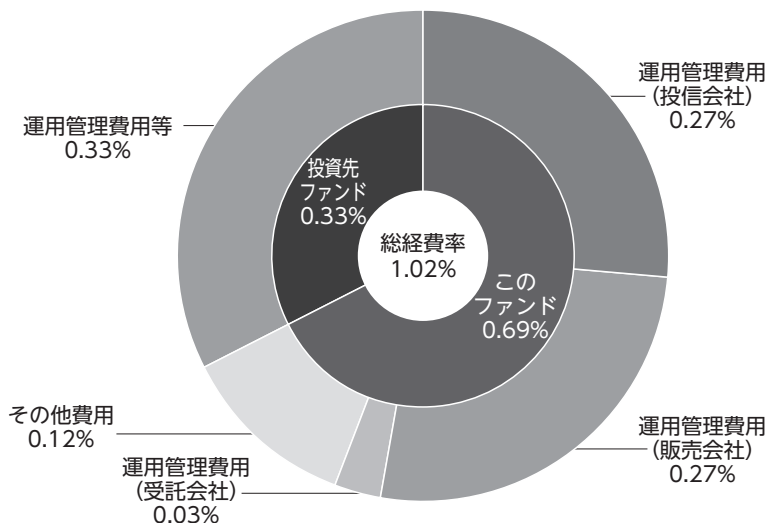
(注6) このファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドについては、運用会社等より入手した概算値を使用している場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■ (参考情報) 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.02%です。



総経費率 (①+②)	1.02%
①このファンドの費用の比率	0.69%
②投資先ファンドの運用管理費用等の比率	0.33%

(注1) このファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) このファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) このファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドについては、運用会社等より入手した概算値を使用している場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

4 最近5年間の基準価額等の推移

(2015年9月23日～2020年9月23日)



	2016年10月3日 設定日	2017年9月20日 決算日	2018年9月20日 決算日	2019年9月20日 決算日	2020年9月23日 決算日
基準価額 (円)	10,000	11,294	11,712	11,625	11,749
期間分配金合計(税込) (円)	—	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	12.9	3.7	△0.7	1.1
純資産総額 (百万円)	1	106	301	567	816

(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドの運用方針に対応する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

(注4) 分配金再投資基準価額は、2016年10月3日の基準価額を起点として指数化しています。

(注5) 設定日の基準価額には当初設定価額を、純資産総額には当初設定元本を用いています。

4 最近5年間の基準価額等の推移

(2015年9月23日～2020年9月23日)



	2016年10月3日 設定日	2017年9月20日 決算日	2018年9月20日 決算日	2019年9月20日 決算日	2020年9月23日 決算日
基準価額 (円)	10,000	11,959	12,806	12,520	12,637
期間分配金合計(税込) (円)	—	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	19.6	7.1	△2.2	0.9
純資産総額 (百万円)	1	81	334	589	896

(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドの運用方針に対応する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

(注4) 分配金再投資基準価額は、2016年10月3日の基準価額を起点として指数化しています。

(注5) 設定日の基準価額には当初設定価額を、純資産総額には当初設定元本を用いています。

4 最近5年間の基準価額等の推移

(2015年9月23日～2020年9月23日)



	2016年10月3日 設定日	2017年9月20日 決算日	2018年9月20日 決算日	2019年9月20日 決算日	2020年9月23日 決算日
基準価額 (円)	10,000	11,946	12,793	12,512	12,627
期間分配金合計(税込) (円)	—	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	19.5	7.1	△2.2	0.9
純資産総額 (百万円)	1	31	144	303	503

- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 当ファンドの運用方針に対応する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。
- (注4) 分配金再投資基準価額は、2016年10月3日の基準価額を起点として指数化しています。
- (注5) 設定日の基準価額には当初設定価額を、純資産総額には当初設定元本を用いています。

5 投資環境

当作成対象期間の先進国株式市場は、米中貿易協議の進展等を受けて景気減速懸念が後退するなか、2020年2月前半までは堅調な展開となりましたが、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けて景気後退への懸念が急速に高まった2月下旬から3月下旬にかけて急落しました。しかし、米国をはじめ各国の政府や中央銀行による政策対応が迅速かつ大規模であったことに加え、4月以降は米欧での新型コロナウイルスの感染拡大ペースに減速の兆しが見られ、段階的に経済活動を再開する動きが広がったことが好感され、急落分を急速に埋めていく展開となりました。6月には米国等での新型コロナウイルス感染再拡大を受けた経済の回復に対する不透明感から上昇基調が一服し、9月にも急速に上昇を続けてきたテクノロジー関連株式を中心に調整する局面もありましたが、主要先進国の株式市場は前期末比プラス圏まで回復して期末を迎えました。しかし、株価の上昇が大型成長株主導だったことから、投資先ファンド(先進国株式)が選好する割安株の推移は、市場全体の上昇に比べ相対的に劣後する結果となりました。

先進国債券市場は、米国の長期金利が大きく低下(債券価格は上昇)した一方、ドイツの長期金利は前期末比小幅な変化にとどまり、日本の長期金利は前期末比上昇しました。米長期金利は、米中貿易協議の進展への期待の広がりとともに米国の景気失速懸念が後退するなか、2019年年末頃まで概ね上昇基調で推移したものの、年明け以降は新型コロナウイルスの蔓延に伴い、安全資産である米国債の買い需要が増大したことや、FRB(米連邦準備制度理事会)が事実上のゼロ金利政策を導入するなど大胆な金融緩和策を打ち出したことなどから、2020年3月上旬ごろまで長期金利は大幅に低下する展開となりました。しかし、3月中旬には米ドル資金を確保する動きから安全資産とされる米国債まで売られる展開となり、短期間で金利が大きく上昇する極めて不安定な局面も見られました。その後はFRBによる大規模な国債買い入れ等の政策対応等を受けて、国債市場は落ち着きを取り戻し、期末まで低位で安定的な推移となりました。ドイツや日本でも新型コロナウイルスの感染拡大により長期金利に低下圧力がかかったものの、ECB(欧州中央銀行)や日本銀行は以前よりマイナスの政策金利を導入しており、ドイツや日本の長期国債利回りが前期末時点でマイナス水準まで大きく低下していたことなどから、米国に比べ金利低下余地が限られました。

米ドル/円相場は、前期末比米ドル安/円高となりました。期初から2020年2月中旬頃までは、揉み合いながらも円安基調で推移し、米国の主要株価指数が史上最高値更新を続けた2月下旬にかけては一時1米ドル=112円台まで円安が進みました。しかし、2月下旬から3月上旬にかけては、日米で新型コロナウイルスの感染拡大が続き両国の株価が急落するなか、それまでの米ドル買いのポジションを巻き戻す動きが強まったことから、一転して一時1米ドル=101円台まで大幅に円高が進みました。その後、3月中旬以降は、リスク資産が大幅な調整を続けるなかで、投資家のリスク回避姿勢が極端に強まり、現金としての米ドル需要が高まったことから、下旬には1米ドル=111円台まで円安に振れる非常に不安定な動きとなりました。3月末にかけては、各国中央銀行の積極的な流動性供給を受けて過度な米ドル需要が後退したことから再び円高に振れるとともに、相場は徐々に落ち着きを取り戻し、4月以降は米長期金利が歴史的な低水準で推移したことなどを背景に緩やかな米ドル安/円高基調となりました。一方、ユーロ/円相場は、前期末比ユーロ高/円安となりました。1月から5月上旬にかけてはユーロ安が進んだものの、ECBによるPEPP(パンデミック緊急購入プログラム)の導入やEU(欧州連合)首脳会議における欧州復興基金創設などの大規模な政策対応等が好感され、5月以降大きくユーロ高/円安が進行しました。

6 当ファンドのポートフォリオ

楽天ターゲットイヤー2030

当ファンドでは、ターゲットイヤーに向けて、株式の組入比率を漸減させ、債券の組入比率を漸増させるよう基本組入比率を設定しています。当期は、追加設定・解約による資金フローを鑑みながら、基本組入配分に沿うかたちで、「楽天グローバル株式マザーファンド」受益証券の組入れを漸減させ、「楽天・世界債券(為替ヘッジ付)マザーファンド」受益証券の組入れを漸増させました。

楽天ターゲットイヤー2040

当ファンドでは、ターゲットイヤーの20年前からターゲットイヤーに向けて、株式の組入比率を漸減させ、債券の組入比率を漸増させるよう基本組入比率を設定しています。ただし、当期末時点においては、ターゲットイヤーまでの期間が20年以上あり、基本組入比率は、株式75%、債券25%の水準で固定しています。当期は、追加設定・解約による資金フローを鑑みながら、基本組入配分に沿うようマザーファンドの組入れを行いました。

楽天ターゲットイヤー2050

当ファンドでは、ターゲットイヤーの20年前からターゲットイヤーに向けて、株式の組入比率を漸減させ、債券の組入比率を漸増させるよう基本組入比率を設定しています。ただし、当期末時点においては、ターゲットイヤーまでの期間が20年以上あり、基本組入比率は、株式75%、債券25%の水準で固定しています。当期は、追加設定・解約による資金フローを鑑みながら、基本組入配分に沿うようマザーファンドの組入れを行いました。

【楽天ターゲットイヤー2030／2040／2050が投資対象とするマザーファンドのポートフォリオ】

楽天グローバル株式マザーファンド

「ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー グローバル・コア・エクイティ・ファンド」の組入比率を高位に維持し、一部ETFを投資対象とする運用を行いました。

楽天・世界債券(為替ヘッジ付)マザーファンド

「ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー グローバル・ショート・フィクスト・インカム・ファンド」の組入比率を高位に維持し、一部ETFを投資対象とする運用を行いました。

7 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

8 分配金

投資信託財産の長期的な成長を追求する観点から、当期の分配は見送らせていただきました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、投資信託財産内に留保し、運用の基本方針にもとづいて運用いたします。

(1万口当たり・税込)

項 目	第4期
	2019年9月21日~2020年9月23日
当期分配金 (円)	—
(対基準価額比率) (%)	(—)
当期の収益 (円)	—
当期の収益以外 (円)	—
翌期繰越分配対象額 (円)	1,749

(注1)「対基準価額比率」は「当期分配金」の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2)「当期の収益」は経費控除後の配当等収益および経費控除後の有価証券売買等損益、「当期の収益以外」は収益調整金および分配準備積立金です。

(注3)「当期の収益」および「当期の収益以外」は、円未満を切捨てて表示しているため、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

7 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

8 分配金

投資信託財産の長期的な成長を追求する観点から、当期の分配は見送らせていただきました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、投資信託財産内に留保し、運用の基本方針にもとづいて運用いたします。

(1万口当たり・税込)

項 目	第4期
	2019年9月21日~2020年9月23日
当期分配金 (円)	—
(対基準価額比率) (%)	(—)
当期の収益 (円)	—
当期の収益以外 (円)	—
翌期繰越分配対象額 (円)	2,637

(注1)「対基準価額比率」は「当期分配金」の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2)「当期の収益」は経費控除後の配当等収益および経費控除後の有価証券売買等損益、「当期の収益以外」は収益調整金および分配準備積立金です。

(注3)「当期の収益」および「当期の収益以外」は、円未満を切捨てて表示しているため、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

7 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

8 分配金

投資信託財産の長期的な成長を追求する観点から、当期の分配は見送らせていただきました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、投資信託財産内に留保し、運用の基本方針にもとづいて運用いたします。

(1万口当たり・税込)

項 目	第4期
	2019年9月21日~2020年9月23日
当期分配金 (円)	—
(対基準価額比率) (%)	(—)
当期の収益 (円)	—
当期の収益以外 (円)	—
翌期繰越分配対象額 (円)	2,627

(注1)「対基準価額比率」は「当期分配金」の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2)「当期の収益」は経費控除後の配当等収益および経費控除後の有価証券売買等損益、「当期の収益以外」は収益調整金および分配準備積立金です。

(注3)「当期の収益」および「当期の収益以外」は、円未満を切捨てて表示しているため、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

今後の運用方針

楽天ターゲットイヤー2030／2040／2050の各ファンドとも、引き続きマザーファンドを主要投資対象とし、基本組入配分に沿って、マザーファンドの組入れを行うことで、投資信託財産の長期的な成長を目指します。組入有価証券の価格変動等により、実際の組入比率が基本組入比率から一定水準以上乖離した場合には、マザーファンドの組入比率の調整(リバランス)を行います。

【楽天ターゲットイヤー2030／2040／2050が投資対象とするマザーファンドの今後の運用方針】

楽天グローバル株式マザーファンド

引き続き「ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー グローバル・コア・エクイティ・ファンド」の組入比率を高位に維持し、一部ETFを投資対象とする運用を行います。

楽天・世界債券(為替ヘッジ付)マザーファンド

引き続き「ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー グローバル・ショート・フィクスト・インカム・ファンド」の組入比率を高位に維持し、一部ETFを投資対象とする運用を行います。

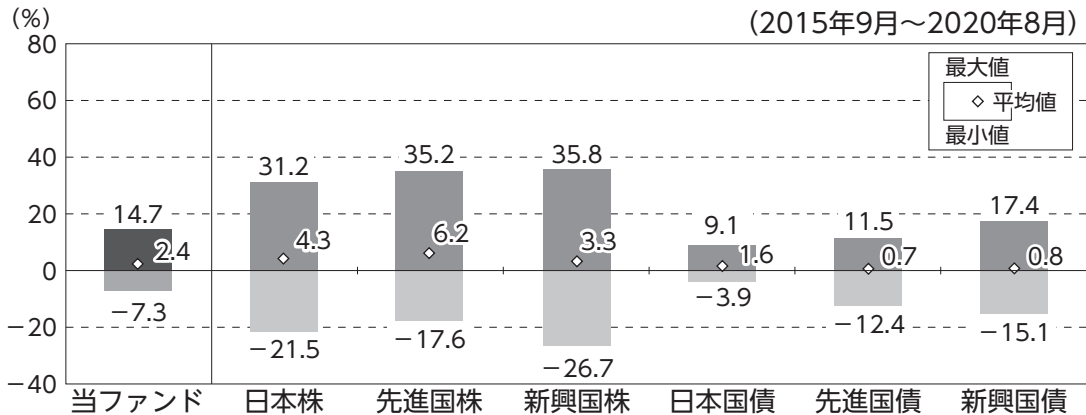
お知らせ

該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合																		
信託期間	無期限(2016年10月3日設定)																		
運用方針	投資信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。																		
主要投資対象	楽天ターゲットイヤー2030/2040/2050	楽天グローバル株式マザーファンドおよび楽天・世界債券(為替ヘッジ付)マザーファンド(以下、両ファンドを総称して「マザーファンド」といいます。)受益証券を主要投資対象とします。																	
	楽天グローバル株式マザーファンド	投資信託証券を主要投資対象とします。																	
	楽天・世界債券(為替ヘッジ付)マザーファンド	投資信託証券を主要投資対象とします。																	
運用方法	<p>①マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に日本を含む先進国の株式および債券を主要投資対象として広く分散投資を行うことで、リスク分散を図りながら収益の獲得を目指します。</p> <p>②当初設定時のマザーファンド受益証券の基本組入比率に基づいて運用を開始し、(※1)年(以下「ターゲットイヤー」といいます。)に向けて、楽天グローバル株式マザーファンド受益証券の組入れを漸減させ、楽天・世界債券(為替ヘッジ付)マザーファンド受益証券の組入れを漸増させます。なお、ターゲットイヤーの決算日の翌日以降は、マザーファンド受益証券の基本組入比率を一定とします。</p> <p>③当初設定時のマザーファンド受益証券の基本組入比率は、楽天グローバル株式マザーファンド受益証券(※2)%、楽天・世界債券(為替ヘッジ付)マザーファンド受益証券(※3)%とし、ターゲットイヤーの決算日の翌日以降のマザーファンド受益証券の基本組入比率は、楽天グローバル株式マザーファンド受益証券15%、楽天・世界債券(為替ヘッジ付)マザーファンド受益証券85%とします。</p> <p>④楽天グローバル株式マザーファンド受益証券における実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。楽天・世界債券(為替ヘッジ付)マザーファンド受益証券については、その主要投資対象とする投資信託証券を通じて、原則として実質組入外貨建資産の対円での為替ヘッジを行います。</p> <p>上記、(※1)、(※2)および(※3)となっている箇所には下の表より各々の数字をあてはめてお読みください。</p> <table border="1" data-bbox="312 1115 1144 1251"> <thead> <tr> <th></th> <th>(※1)</th> <th>(※2)</th> <th>(※3)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>楽天ターゲットイヤー2030</td> <td>2030</td> <td>54</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>楽天ターゲットイヤー2040</td> <td>2040</td> <td>75</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>楽天ターゲットイヤー2050</td> <td>2050</td> <td>75</td> <td>25</td> </tr> </tbody> </table>				(※1)	(※2)	(※3)	楽天ターゲットイヤー2030	2030	54	46	楽天ターゲットイヤー2040	2040	75	25	楽天ターゲットイヤー2050	2050	75	25
	(※1)	(※2)	(※3)																
楽天ターゲットイヤー2030	2030	54	46																
楽天ターゲットイヤー2040	2040	75	25																
楽天ターゲットイヤー2050	2050	75	25																
分配方針	<p>分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益および売買益(評価損益を含みます。)等の全額とします。</p> <p>収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。</p> <p>留保益の運用については特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。</p>																		

ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注1)当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように、上記5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したもので、決算日に対応した数値とは異なります。なお、当ファンドの騰落率は、設定日以降で算出可能な期間のみであり、代表的な資産クラスの対象期間と異なります。

当ファンドの対象期間：2017年10月～2020年8月

代表的な資産クラスの対象期間：2015年9月～2020年8月

(注2)当ファンドの年間騰落率は、分配金再投資基準価額に基づいて計算した騰落率であり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

(注3)すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの騰落率は以下の各指数の騰落率です。

日本株：S&P日本総合指数(トータル・リターン、円ベース)

先進国株：S&P先進国総合指数(除く日本、トータル・リターン、円換算ベース)

新興国株：S&P新興国総合指数(トータル・リターン、円換算ベース)

日本国債：ブルームバーグ・バークレイズ・グローバル国債：日本インデックス (円ベース)

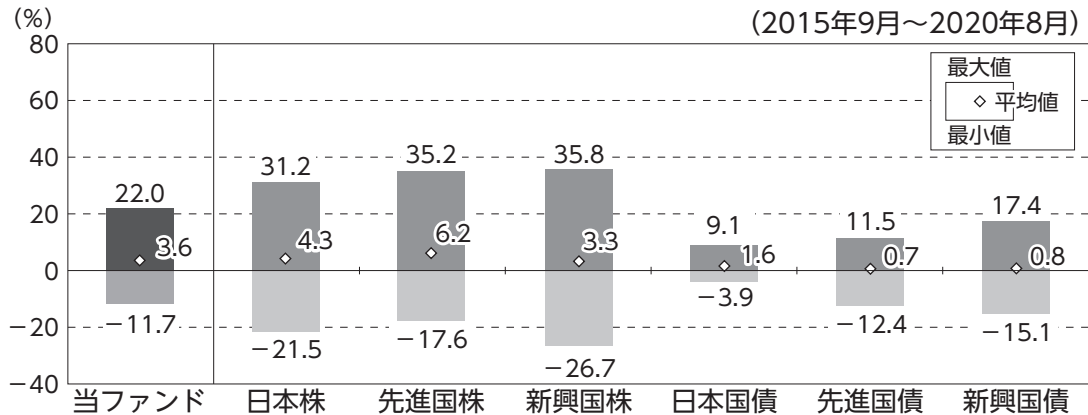
先進国債：ブルームバーグ・バークレイズ・グローバル国債 (日本除く) インデックス (円ベース)

新興国債：ブルームバーグ・バークレイズ新興市場自国通貨建て高流動性国債 インデックス (円ベース)

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※上記各指数に関する知的財産権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。

ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注1)当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように、上記5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したもので、決算日に対応した数値とは異なります。なお、当ファンドの騰落率は、設定日以降で算出可能な期間のみであり、代表的な資産クラスの対象期間と異なります。

当ファンドの対象期間：2017年10月～2020年8月

代表的な資産クラスの対象期間：2015年9月～2020年8月

(注2)当ファンドの年間騰落率は、分配金再投資基準価額に基づいて計算した騰落率であり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

(注3)すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの騰落率は以下の各指数の騰落率です。

日本株：S&P日本総合指数(トータル・リターン、円ベース)

先進国株：S&P先進国総合指数(除く日本、トータル・リターン、円換算ベース)

新興国株：S&P新興国総合指数(トータル・リターン、円換算ベース)

日本国債：ブルームバーグ・バークレイズ・グローバル国債：日本インデックス (円ベース)

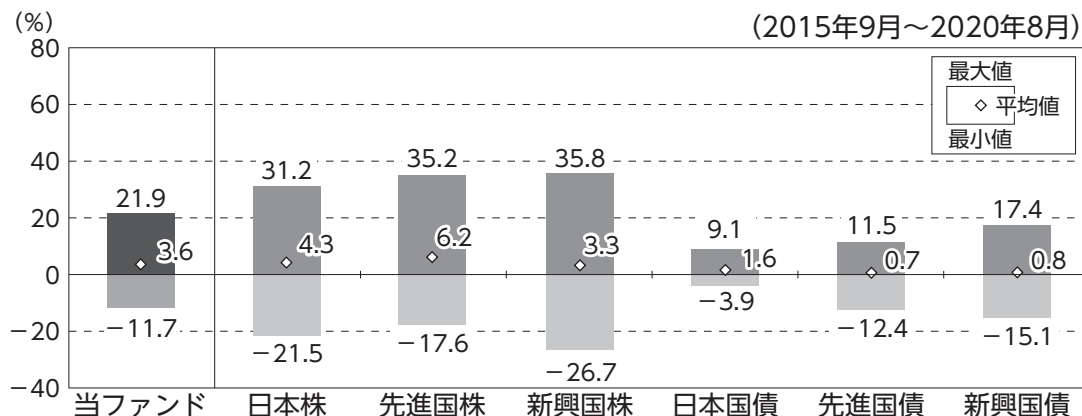
先進国債：ブルームバーグ・バークレイズ・グローバル国債 (日本除く) インデックス (円ベース)

新興国債：ブルームバーグ・バークレイズ新興市場自国通貨建て高流動性国債 インデックス (円ベース)

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※上記各指数に関する知的財産権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。

ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注1)当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるよう、上記5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したもので、決算日に対応した数値とは異なります。なお、当ファンドの騰落率は、設定日以降で算出可能な期間のみであり、代表的な資産クラスの対象期間と異なります。

当ファンドの対象期間：2017年10月～2020年8月

代表的な資産クラスの対象期間：2015年9月～2020年8月

(注2)当ファンドの年間騰落率は、分配金再投資基準価額に基づいて計算した騰落率であり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

(注3)すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの騰落率は以下の各指数の騰落率です。

日本株：S&P日本総合指数(トータル・リターン、円ベース)

先進国株：S&P先進国総合指数(除く日本、トータル・リターン、円換算ベース)

新興国株：S&P新興国総合指数(トータル・リターン、円換算ベース)

日本国債：ブルームバーグ・バークレイズ・グローバル国債：日本インデックス (円ベース)

先進国債：ブルームバーグ・バークレイズ・グローバル国債 (日本除く) インデックス (円ベース)

新興国債：ブルームバーグ・バークレイズ新興市場自国通貨建て高流動性国債 インデックス (円ベース)

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※上記各指数に関する知的財産権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。

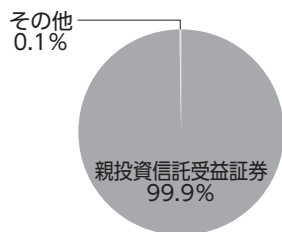
当ファンドのデータ

1 当ファンドの組入資産の内容

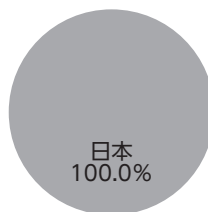
■組入ファンド

	当期末
楽天・世界債券(為替ヘッジ付)マザーファンド	60.7%
楽天グローバル株式マザーファンド	39.2%
その他	0.1%
組入ファンド数	2

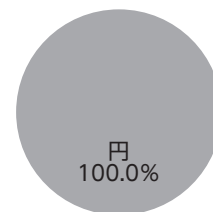
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
(注2)国別配分につきましては発行国を表示しております。

2 純資産等

項 目	第4期末
	2020年9月23日
純 資 産 総 額	816,645,455円
受 益 権 総 口 数	695,056,711口
1万口当たり基準価額	11,749円

※期中における追加設定元本額は319,996,997円、同解約元本額は113,166,499円です。

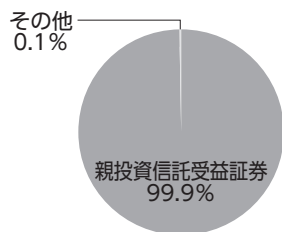
当ファンドのデータ

1 当ファンドの組入資産の内容

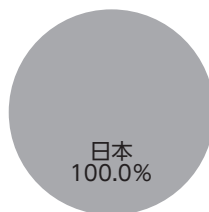
■組入ファンド

	当期末
楽天グローバル株式マザーファンド	74.3%
楽天・世界債券(為替ヘッジ付)マザーファンド	25.6%
その他	0.1%
組入ファンド数	2

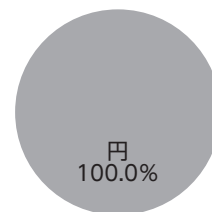
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
(注2)国別配分につきましては発行国を表示しております。

2 純資産等

項 目	第4期末
	2020年9月23日
純 資 産 総 額	896,212,916円
受 益 権 総 口 数	709,184,627口
1万口当たり基準価額	12,637円

※期中における追加設定元本額は312,323,476円、同解約元本額は73,853,722円です。

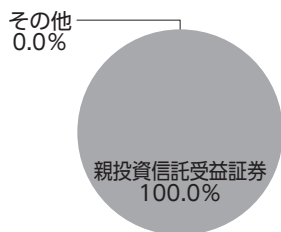
当ファンドのデータ

1 当ファンドの組入資産の内容

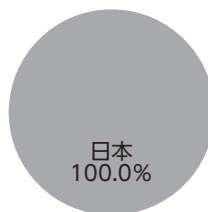
■組入ファンド

	当期末
楽天グローバル株式マザーファンド	74.4%
楽天・世界債券(為替ヘッジ付)マザーファンド	25.6%
その他	0.0%
組入ファンド数	2

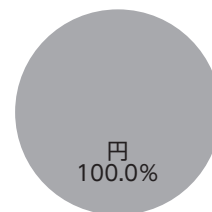
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
 (注2)国別配分につきましては発行国を表示しております。

2 純資産等

項 目	第4期末
	2020年9月23日
純 資 産 総 額	503,718,012円
受 益 権 総 口 数	398,906,785口
1万口当たり基準価額	12,627円

※期中における追加設定元本額は213,630,429円、同解約元本額は57,639,158円です。

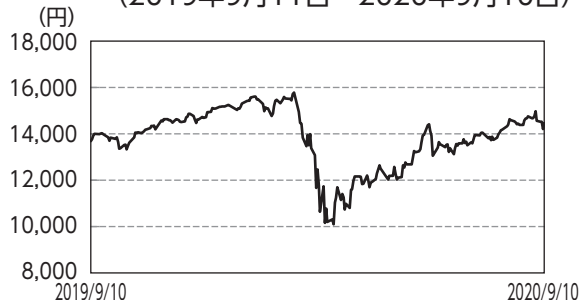
3 組入ファンドの概要

楽天グローバル株式マザーファンド

運用経過等に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

■基準価額の推移

(2019年9月11日～2020年9月10日)



■1万口当たりの費用明細

(2019年9月11日～2020年9月10日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用) (その他)	0円 (0) (0)	0.000% (0.000) (0.000)
合計	0	0.000

期中の平均基準価額は13,853円です。

(注)費用項目については6ページ(1万口当たりの費用明細の項目の概要)をご参照ください。

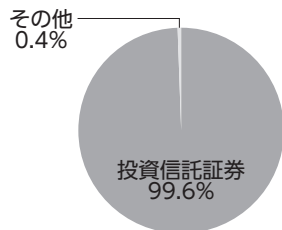
■組入上位10銘柄

(2020年9月10日現在)

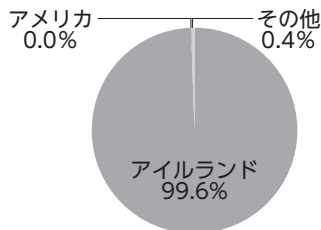
	銘柄名	発行国	比率 %
1	ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー グローバル・コア・エクイティ・ファンド	アイルランド	99.6
2	iシェアーズ MSCI ワールド ETF	アメリカ	0.0
3	—	—	—
4	—	—	—
5	—	—	—
6	—	—	—
7	—	—	—
8	—	—	—
9	—	—	—
10	—	—	—
組入銘柄数		2	

(注)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

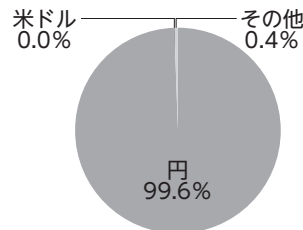
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2)国別配分につきましては発行国を表示しております。

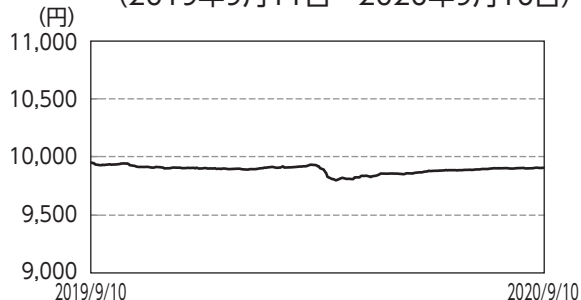
3 組入ファンドの概要

楽天・世界債券(為替ヘッジ付)マザーファンド

運用経過等に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

■基準価額の推移

(2019年9月11日～2020年9月10日)



■1万口当たりの費用明細

(2019年9月11日～2020年9月10日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (その他)	0円 (0)	0.000% (0.000)
合計	0	0.000

期中の平均基準価額は9,892円です。

(注)費用項目については6ページ(1万口当たりの費用明細の項目の概要)をご参照ください。

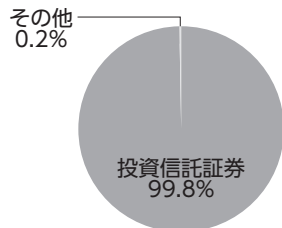
■組入上位10銘柄

(2020年9月10日現在)

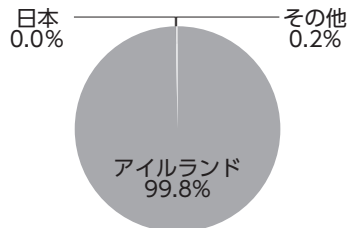
	銘柄名	発行国	比率 %
1	ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー グローバル・ショート・フィクスト・インカム・ファンド	アイルランド	99.8
2	iシェアーズ・コア 米国債7-10年ETF(為替ヘッジあり)	日本	0.0
3	—	—	—
4	—	—	—
5	—	—	—
6	—	—	—
7	—	—	—
8	—	—	—
9	—	—	—
10	—	—	—
組入銘柄数		2	

(注)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

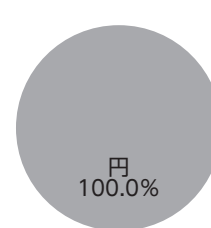
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2)国別配分につきましては発行国を表示しております。